

# 講習会アンケート集計

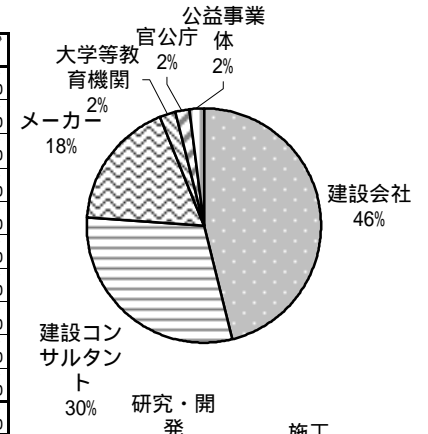
講習会名 安全で経済的な施工計画を行うための講習会  
 (仮設構造物の計画と施工に関する講習会)  
 開催日時 2003年12月9日(火)9:00~17:00  
 開催場所 土木学会講堂

出席者数 70名  
 アンケート回答数 50 回収率 71%

## 1. 受講者のプロフィール

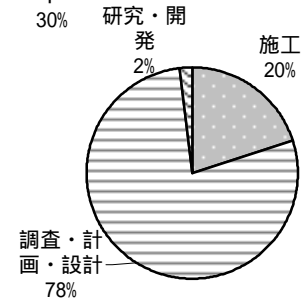
### 1.1 所属

	回答数	パーセンテージ
建設会社	23	46%
建設コンサルタント	15	30%
メーカー (橋梁, 鉄鋼, 重工等)	9	18%
大学等教育機関	1	2%
官公庁 (国, 公団)	0	0%
官公庁 (地方公共団体)	1	2%
ソフトウェア関連	0	0%
公益事業 (電力・ガス・鉄道など)	1	2%
学生	0	0%
その他	0	0%
計	50	100%



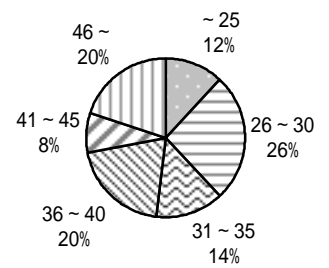
### 1.2 現在の業務内容

	回答数	パーセンテージ
施工	10	20%
調査・計画・設計	39	78%
研究・開発	1	2%
その他	0	0%
計	50	100%



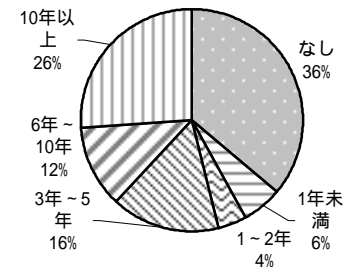
### 1.3 年齢

	回答数	パーセンテージ
~25	6	12%
26~30	13	26%
31~35	7	14%
36~40	10	20%
41~45	4	8%
46~	10	20%
計	50	100%



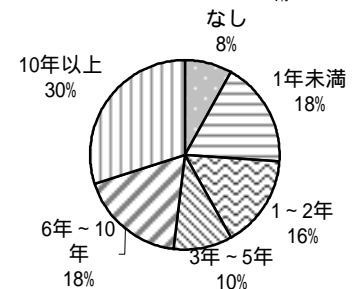
### 1.4 工事経験年数

	回答数	パーセンテージ
なし	18	36%
1年未満	3	6%
1~2年	2	4%
3年~5年	8	16%
6年~10年	6	12%
10年以上	13	26%
計	50	100%



### 1.5 設計・計画経験年数

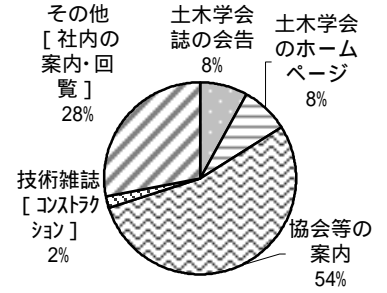
	回答数	パーセンテージ
なし	4	8%
1年未満	9	18%
1~2年	8	16%
3年~5年	5	10%
6年~10年	9	18%
10年以上	15	30%
計	50	100%



## 2. 講習会について

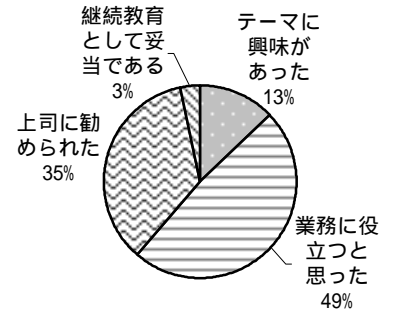
### 2.1 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数回答)

	回答数	パーセンテージ
土木学会誌の会告	4	8%
土木学会のホームページ	4	8%
協会等の案内	27	54%
技術雑誌 [ コンストラクション ]	1	2%
その他 [ 社内の案内・回覧 ]	14	28%
計	50	100%



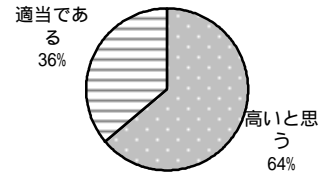
### 2.2 参加の動機をお答えください。(複数回答可)

	回答数	パーセンテージ
テーマに興味があった	8	13%
業務に役立つと思った	30	48%
上司に勧められた	22	35%
継続教育として妥当である	2	3%
その他	0	0%
計	62	100%



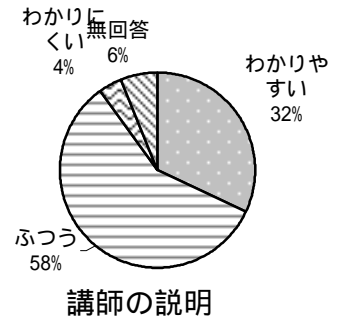
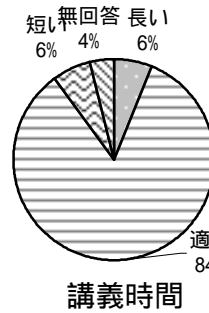
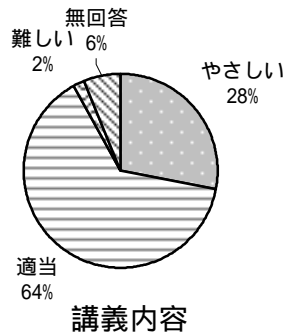
### 2.3 参加費についてお答えください

	回答数	パーセンテージ
高いと思う	32	64%
適当である	18	36%
安いと思う	0	0%
計	50	100%

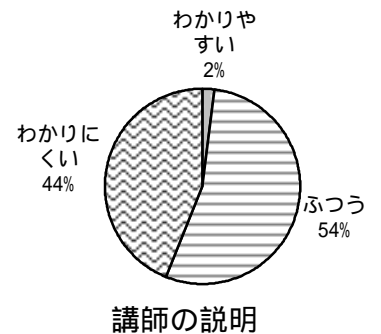
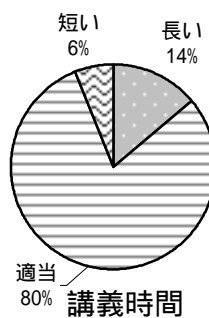
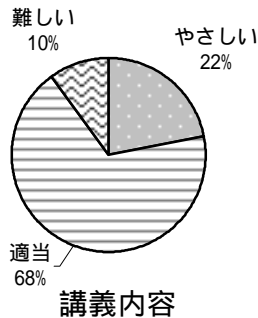


### 2.4 講義内容の難易度と講義時間、及び講師の説明についてお答えください

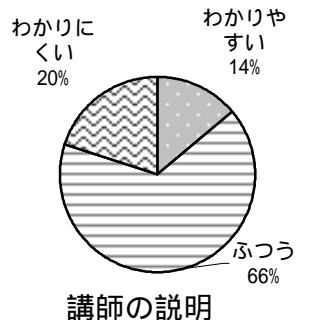
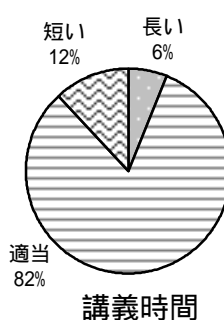
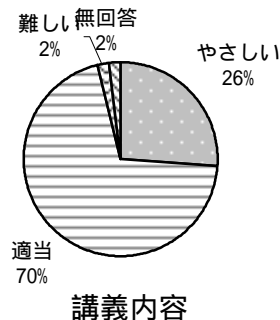
#### 1-1 土留め工・仮締切り



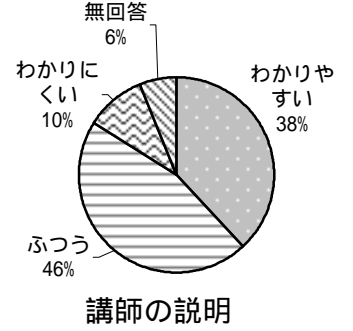
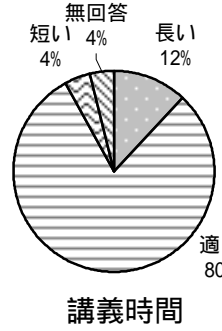
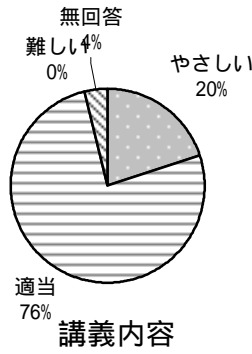
#### 1-2 機械計画・電気設備



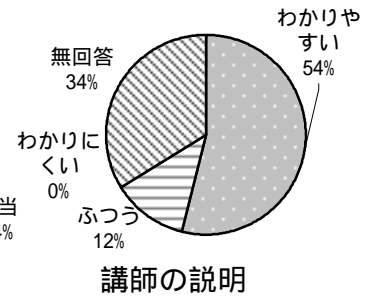
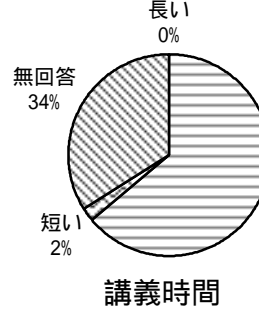
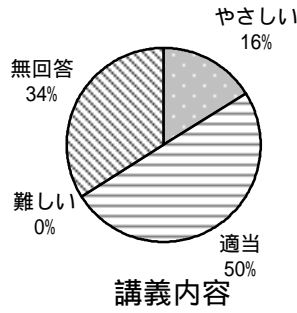
#### 1-3 型枠・支保工



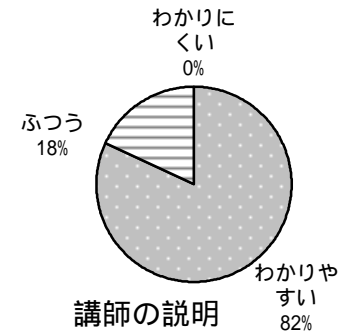
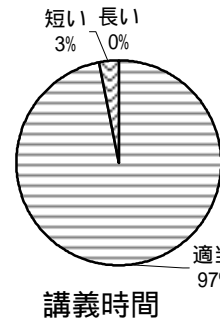
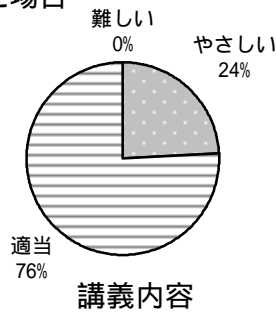
1-4副産物・環境対策



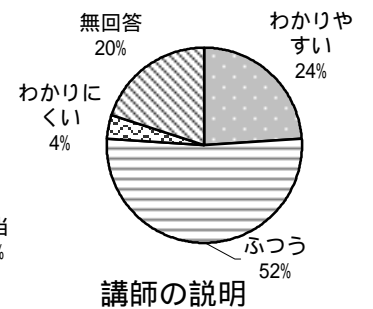
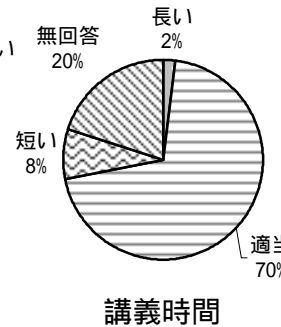
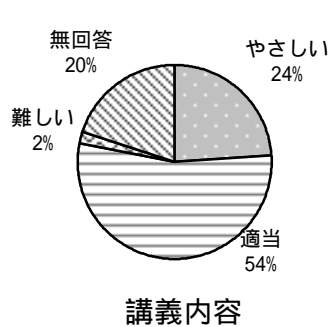
1-5土木技術者の倫理



無回答を除いた場合

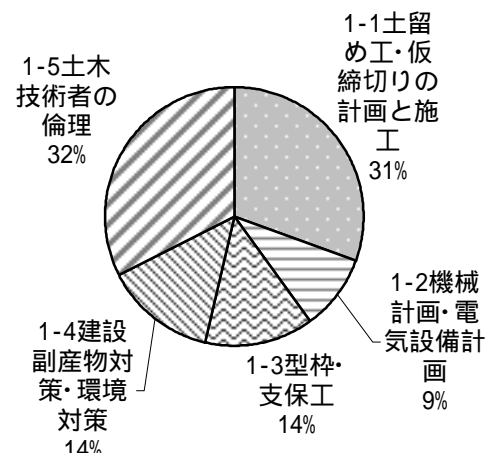


講習会全体



2.5 講義内容が特に良かった（啓発された，実務に役立つ）セッションをお答えください。（複数回答可）

	回答数	パーセンテージ
1-1土留め工・仮締切りの計画と施工	29	31%
1-2機械計画・電気設備計画	9	9%
1-3型枠・支保工	13	14%
1-4建設副産物対策・環境対策	13	14%
1-5土木技術者の倫理	31	33%
計	95	100%



## 2.6 今後、講習会で取り上げて欲しいテーマがありましたらご記入ください。

- ・橋の動的耐震設計、人口減少下の社会資本整備、道路交通需要予測の理論と適用（刊行物から）（建設コンサル30代）
- ・計算書関係で、実例を挙げての講習（メーカー20代）
- ・橋梁の補修・補強の現状について（メーカー30代）
- ・新工法について取上げて欲しい（特に仮設）（建設会社40代）
- ・「発注者の立場と受注者の姿勢」 発注者側の意向とそれに伴う技術力、またそれにサポート提案を行う受注者の姿勢と倫理、設計体制について（営利団体であることも含め）（建設コンサル
- ・衝突荷重を考慮したガードレール基礎、擁壁の設計（建設コンサル30代）
- ・地盤改良工（建設会社30代）
- ・土の弾塑性力学、RCの構造計算（具体的な計算事例集）（建設会社20代）
- ・施工技術として事故等の事例（原因（特に構造的）及び防止対策）（メーカー40代）
- ・トラブル事例と解決策について。実例などの紹介、解説（建設会社30代）
- ・環境対策のなかでも最近社会問題化している汚染土壌の処理方法ならびにその施工例（建設会社30代）
- ・近接施工。設計と実施施工との整合、相違点。（設計ではコンクリート強度  $ck = 24$ で設計しているが実施は本当に24なの？鉄筋もSD345なの？）（建設コンサル20代）
- ・土木の歴史と今後の展望。教授の講話（ブレインが何を考えているのか感じ取りたい）（建設会社30代）
- ・土木の最新技術について（建設会社20代）
- ・これからの建設業、土木業に求められる経済情勢・技術力についての具体的措置についてのテーマ（建設会社30代）
- ・仮橋の計画・施工について。設計の基礎知識について（メーカー20代）
- ・新土木材料（メーカー40代）
- ・仮設構台の計画と施工（建設会社20代）
- ・機械・電気の設備、基礎技術について集中した講習があってもよいと思います（建設会社30代）
- ・仮設構造物の設計計算例（一般的なもの）を挙げ、それを解説してほしい（建設会社20代）
- ・動的解析（建設コンサルタント20代）
- ・土木デザインの現況と失敗例（建設コンサルタント20代）

## 2.7 感想・意見などありましたらご記入ください。

- ・遠方からきているので開始時間を10時からにしてほしい（建設コンサル30代）
- ・パワーポイントには、テキスト丸写しではなく。施工状況の写真とか見てわかりやすいものにするべき。説明文をそのまま写すのは見にくくて仕方がない。スライドと説明文は別である。資料の間違いも多く事前の準備不足の感がある。継続教育の内容として、初級技術者用と思われた。もう少しレベルを上げてよいと思う。本日の内容であれば参加費は高い。半額で十分と思う。 1-2, 1-3, 1-4。最後の1-5はたいへんよかった。参加費の値打ちがある（建設会社30代）
- ・テキストの中味について、具体例や計算事例が示されておりコンパクトにまとまっているので、今後活用することができると思う。（建設会社20代）
- ・今回の経済的に施工計画を行うための内容について実例を含めたテーマで講習会にしてもらいたかった（メーカー40代）
- ・全体的に概要説明が中心であり、講習会の内容案内にあるような施工事例や最新情報の解説は乏しかった。もっと具体的な内容を増やし、トラブル事例やそれを解決した実例などの解説がほしい。（建設会社30代）
- ・テキストを説明するだけの講義が多い。講習料を払っているのに講師の準備不足が感じられる。（建設会社30代）
- ・講義者が悪すぎる。（建設コンサル20代）
- ・1-5はすごく面白かった。経済的というポイントは企業の人と話すとやっぱり突っ込んだ話しができないのかなと思った。（建設会社30代）
- ・全体的にやさしい。実務経験の多い人にはたいくつかも。もう少し専門的なテーマについての講習でもよいのでは（継続教育ならなおさら）（建設会社20代）
- ・テキスト内容の要点については理解できる講義ではありますが、今回の主旨である「安全で経済的な施工計画を行うための講習会」の内容とは今ひとつ解らない点がありました（建設会社30代）
- ・講習会で使用したグラフ等（PowerPoint）のデータをいただきたい。白黒であるとわかりづらいため（メーカー20代）

- ・施工計画より施工に関する内容が多かった。理論的背景等に力をいれてほしかった。パワーポイントの資料のカラー化。章全体を説明しないで、安全で経済的な施工計画とはに焦点をあててほしかった。(メーカー40代)
- ・実務にいかすには不十分であると思う。ただ、本の中味の一覧を理解するにはよかった。(建設会社20代)
- ・高額な参加費の割に内容が簡潔すぎると感じました。ある程度知識と経験をもつ技術者の再教育プログラムとするならもっと専門的な内容でもよいのではないかと感じます。(建設会社30代)
- ・このような講習会を多く設けてほしいが、もう少し安価で参加しやすくしてほしい。実務があるため、土日祝日に行っていただけばうれしい。(建設会社20代)
- ・参加費が非常に高いと思う。建コン協、インフラ研その他の協会の講習会にもよく行くが、6000~7000円の値段だとテキスト付です。これぐらいの講習会であれば2000円ぐらいかと…。どうか今後ご一考を。川島先生の講演にはたいへん感銘を受けました。最近のマスコミ報道で土木技術者が非難されている中で元気でのる講演でした。土木の仕事が誇りがもてる仕事であるのが再認識できました。(建設コンサルタント20代)
- ・土木技術者の倫理は大学の時に講義を受けて内容もあまり変わらなかったのですが、実際に働いてみて技術者として仲間入りしてから話しを聞くと違った見方になると思いました。倫理についてより切実に感じました。(建設コンサルタント20代)
- ・現場の施工例を具体的内容で講義されたい。事故例についても、なぜミスが起こったのか具体的に講義されたい。(公益事業体40代)
- ・講習が全体的に施工に重点がおかれていたような気がいたします。もう少し計画、設計からみたお話を聞けたらうれしかったです。(建設コンサルタント20代)
- ・本の説明よりも実務、実例によるものが多いほうがよい。1-3は実例が多くよかった。講習会資料(パワーポイントの打出し)の図が小さくみづらい。講習会参加者はよいが社内での資料にもしたいので、4枚/A4くらいにしてほしかった。(建設コンサルタント20代)
- ・講義時間は適当と思うが、全体的に詰めて開始時間を午前10:00としてほしい(詰めるのが無理な場合は終了時間をずらす)。(建設会社40代)
- ・会場が寒かった(建設会社20代)
- ・スライド、テキストの読み上げが多く、事例、最新情報等の解説が不十分なセッションがあった。(建設コンサルタント30代)
- ・参加して大変ためになりました。が、もう少し参加費が安価であれば複数名の参加ができたと思います。また、講習中に電話で抜けるような奴は室内に入れなくてほしい。講師の方にもものすごく失礼ですし、ちゃんと聴講している人にとっては、はっきり言って邪魔です。(建設会社30代)
- ・1セッションで内容を詰め込みすぎた感があった。要点がつかみにくい。説明するというより原稿を読んでいるだけのような気がする。(建設会社20代)
- ・1回の講習会ではなく、1年間なり、半年間で技術者としての教育を行うようなプログラムを作ってほしい。経験年数的にも5~10年、10~20年等に分けて。(建設コンサルタント30代)
- ・型枠・支保工のようなスライドの棒読みでは全く勉強にならない。スライド配布だけでよい。それでは講習会の意味がないと思います。また、時間も短く、発表者としての取り組む姿勢に問題があると感じました。(大学等教育機関30代)
- ・もう少し具体的に計算例などを盛り込んで構成してもらいたい。(メーカー40代)